

事業所名		きりんのあくびlifeふせ				児童発達支援プログラム（東大阪市提出用）				作成日		R7	年	4	月	1	日	
法人（事業所）理念		・根拠のある安全性　・謙虚さ　・積極性　・効率性　・自分らしさ																
支援方針		実行機能に着目し社会性の向上を目指し将来に役に立つ力を養う事業所です。 社会性の中でも着目すべき点が ①社会的なルールの理解　②対人面（距離感、他者理解、報連相）③自分で計画し行動する力（思考・手段） 子どもたちの「やりたい！」を子ども自身が考えて「かたち」にできるように　その過程に職員が介入し社会性の向上を目指します。																
営業時間		平日	10	時	0	分から	19	時	0	分まで	送迎実施の有無	あり						
		土・祝	9	時	0	分から	18	時	0	分まで								
		支 援 内 容																
本人支援	健康・生活	健康状態の維持のため来所時に検温、視診を行い、活動中も観察による状況把握をし、異変察知に務める。 ADLに対して、土・祝に実施している戸外活動で実際に体験してもらい向上を促す。																
	運動・感覚	着席の持続や姿勢保持のための感覚入力や環境調整を行う。 身辺自立を目指した、生活日常動作の支援。																
	認知・行動	事業所での1日のスケジュールやレスパイトプログラムの行き先などの自分のやりたいことを言語化できるように介入する。 計画を立てて目標に向けて行動をする過程の中で新たな思考や新たな手段を児童自身で考えられるように介入を行う。 最後に計画、行動に対してのフィードバックを行い、次回に繋げる。																
	言語 コミュニケーション	他者の気持ちの理解、自分の気持ちの言語化を行えるように介入をする。 グループワークや発表の場を設け、相手がどう思っているのか、その時の相手の状況を読み取る力とその状況に合った行動など他者視点に立てるように職員が介入する。																
	人間関係 社会性	映像やロールプレイによるSSTを行い、児童に質疑応答を行いながら社会的なルールの理解を促す。 小集団のグループワークを通して、他者と協力し物事を決める経験を積んでもらう。 その状況に合わせた役割の理解																
家族支援		・児童の発達や園生活に関する助言や相談 ・保護者のレスパイトケアや就労状況に合わせた延長支援の実施								移行支援		・事業所で得たスキルを生活に反映できるように支援をおこなう ・希望の進路先を見据えた本人と保護者等との相談を実施						
地域支援・地域連携		スムーズな生活を送れるように通学先の担当者や併用している事業所の担当者、相談支援事業者との連携や連絡の実施								職員の質の向上		・事業所運営に係る資格取得研修・年間研修計画に基づいた社内研修 ・専門知識を深める社外研修への参加						
主な行事等		土・祝や長期休暇にはレスパイトプログラムの導入 季節に合わせたイベント																